

事業報告

<研修名>

令和元年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会

<開催日時>

令和元年6月4日(火) 13:00~16:20

6月5日(水) 10:00~16:00

<参加人数>

2日間で延べ66名

<研修趣旨>

新任の社会教育行政職員として生涯学習・社会教育に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、業務遂行に必要な人的ネットワークづくりやスキルアップを図り、社会教育行政職員および社会教育主事としての使命と役割を理解する。

<研修内容>

—————6月4日(火)—————

【研修1】講義 「生涯学習・社会教育の現状と社会行政職員への期待」

講師：大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏

【研修2】演習 「アイスブレイクとふりかえりの方法」

進行：大分県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 吉田 知子

【研修3】講義 「今後の社会教育の動向と大分県の現状」

講師：大分県立図書館 学校・地域支援課長 森山 貴仁

研修1では、社会教育行政職員・社会教育主事の職務内容と最近の状況を踏まえながら、具体的にどのような仕事をし、どんな役割を期待されているのか、また、そもそも何のために自分の業務を行っているのかをクローズアップビューとバードビューという2つの視点で見ていくことが大切だというお話を聞きました。

研修2では、ペアトークと日頃の仕事での自分の行動を振り返ってみるアイスブレイクを行い、研修3では、「大分県の生涯学習・社会教育 平成30年度市町村生涯学習・社会教育の現状及び平成29年度生涯学習・社会教育推進の実績」などの資料をもとに、社会教育を取り巻く環境の変化と課題、それに伴い社会教育に期待されている役割と方向性や諸課題について、また、大分県の現状についての講義・説明がありました。

———6月5日（水）———

【研修4】講義 「社会教育における『学習』と事業運営」

講師：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

2日目の研修4では、まず、法律に記された「实际生活に即する」文化教養あるいは教育の意味について、「環境を醸成する」という職員の仕事とは、どのようなものなのか。また、社会教育における「学習」のタイプや講座づくりの過程について触れた後、受動的な状態から少しずつ「主体的な学習」へ発展していく様子の例として認知症の高齢者の「自分史づくり」についての動画が紹介されました。

【研修5】演習 「事業・活動計画案の作成」

指導・助言：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

進行：大分県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 吉田 知子

参加者は、①若者対象②子育て対象③すべての住民対象の3つの中から1つ選び、4～6人の7グループに分かれて事業・活動企画案を作成した。ホワイトボードシートに「現状」「課題」「対象者」「ニーズ」「やってみたいこと」「できること」について意見やアイデアを書き出し、その中から1つを選んでプロジェクト名と簡単な説明を書いて、グループごとに発表し共有した。

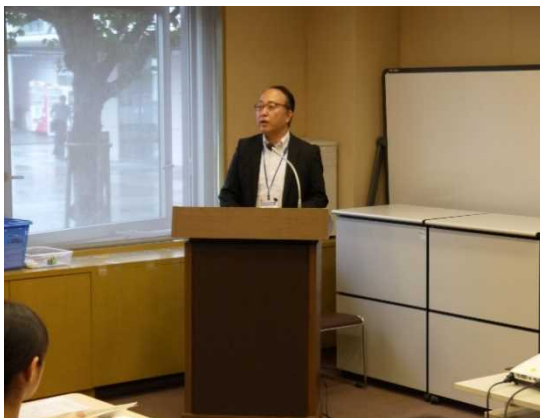
【研修6】講義 「生涯学習・社会教育と地域の暮らし」

講師：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

研修5の演習についての講評を交えながら、お互いが尊重される関係づくりや住民の小さな課題から「本音」で話し合える関係づくりのために、当事者の立場に立って、少しでも既存の事業の枠を越えて集まり行動することも大切だというお話がありました。

<当日の様子（写真）>

【開会行事】



【研修1】「生涯学習・社会教育の現状と社会教育行政職員への期待」
大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏



【研修2】

(演習Ⅰ)「アイスブレイクとふりかえりの方法」



【研修3】「今後の社会教育の動向と大分県の現状」

大分県立図書館 学校・地域支援課長 森山 貴仁



【研修4】「社会教育における『学習』と事業運営」

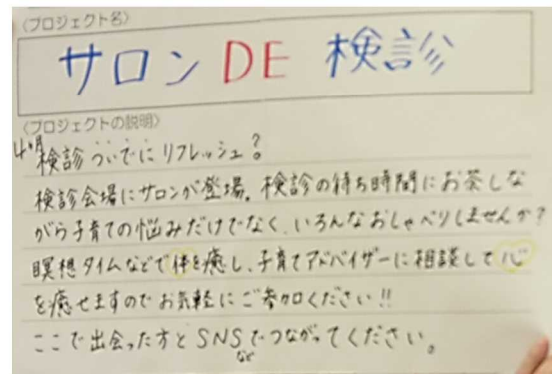
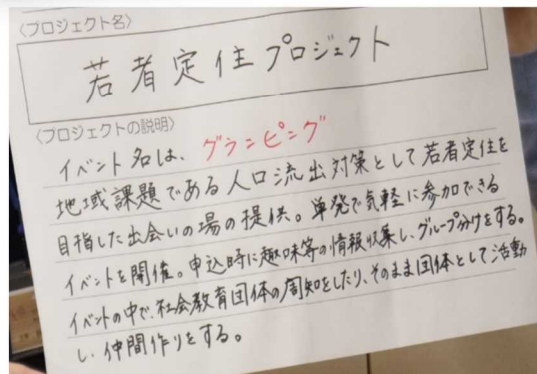
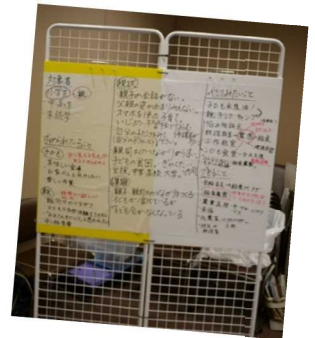
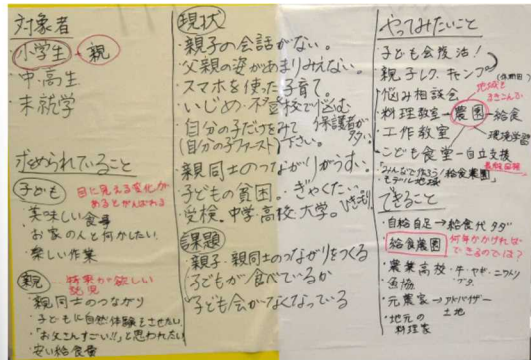
別府大学文学部人間開発学科 教授 長尾 秀吉 氏



【研修5】(演習Ⅱ)「事業・活動企画書の作成」



【グループの企画案】



<参加者感想>

- 理論あり演習ありで充実した研修だった。職員は事業系と庶務系に別れているが、どちらもこういうスキルや知識をもっておくことが大事だと思った。また、県内のいろんな方と出会えて刺激をもらった。
- グループワークはいろいろな市町村の方とそれぞれの事業の悩みなどについて話ができてよかった。また、プロジェクトは実現できそうなものもあるので、今後の事業に活かさないか考えてみたい。
- 社会教育の目的と可能性をよく理解できた。自分の担当事業のどこにどのように活かせるか、まだ具体的にイメージできないが、これからも勉強していきたい。
- 社会教育の意義や役割等、学ぶ機会がこれまでなかったため、大変貴重な学習機会だった。
- やはり年1回だけでもこのような研修会は大切だと思う。日々の業務に追われがちだが、現状の認識や自分のことを振り返るきっかけになる。